

登録コード	ASN03668	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	大窪 久美子	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士2年	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				緑地生態学で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力の向上および研究成果のグローバルな発信能力を習得することができる。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				緑地生態学で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力の向上および研究成果のグローバルな発信能力を習得することができる。		
授業の概要	植物生態学及び, これを応用した景観, 緑地保全に関する研究。なぜ, ある場所に特定の植物群落が成立しているのか, その成立要因や群落の組成と構造の特性について, また構成種の生活史及び個体群維持機構の特性, 群落の種間相互作用などの解明について研究手法を習得する。 応用的な分野では, 生態学的観点から景観, 緑地保全を図るための保全生態学的研究手法を習得する。 人とのかわりあいの深い自然を研究対象とする場合には, 生物科学的手法のみならず, 土地利用調査などの社会科学的手法を用い, 研究にアプローチする。						
Contents:	Plant Ecology and Landscape Ecology Searching for a theme for research. Drawing up a research plan. Research and reading papers. Writing a thesis and its presentation.						
授業計画	1. オリエンテーション 2. 研究の課題設定 1 3. 研究の課題設定 2 4. 文献検索 5. 調査実験計画の方法 1 6. 調査実験計画の方法 2 7. 調査方法 1 8. 調査方法 2 9. 実験方法 1 10. 実験方法 2 11. 結果考察 1 12. 結果考察 2 13. 論文作成の手法、 14. プレゼンテーションの手法 15. まとめ						
成績評価の方法	研究活動全般に対する総合評価とする。 研究内容が概ね理解できていれば「その水準にある」、十分に理解できていたら「やや上にある」、十分に理解し、応用力があれば「かなり上にある」、とてもよく理解し、応用、さらに発展できる力が備わっていれば「卓越している」						
成績評価の基準	秀: 90点以上 (卓越している) 優: 80 ~ 89点 (かなり上にある) 良: 70 ~ 79点 (やや上にある) 可: 60 ~ 69点 (水準にある) 不可 (D): 50 ~ 59点 (やや下にある) 不可 (E): 49点以下 (水準にない)						
事前事後学習の内容	フィールドでの経験を大事にしてください。 また、専門書や原著を読んで先行研究での自分の研究の位置づけを常に確認するようにしてください。						
履修上の注意	学会参加や学会での研究発表を積極的に行うように心がけてください。						
質問, 相談への対応	随時質問を受け付けます。 メールは下記のとおりです。 zuiko@shinshu-u.ac.jp						
学生へのメッセージ	研究活動の楽しさを知ってほしいので、随時相談してください。						
【教科書】	随時紹介する。						
【参考書】	随時紹介する。						